

別紙

三菱重工業株式会社 三原製作所 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三菱重工業株式会社 三原製作所

(2) 事業所の所在地

広島県 三原市糸崎南一丁目1番1号

(3) 業種

印刷, 製本, 紙工機械製造業 (2 6 4 4)

2 計画の期間

H23~H26年(4年計画)

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a) 平成19～22年度平均	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c) 平成26年度	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	24,949.1	23,723.9	15,706.8	14,176.06	13,101.72	12,121.30	
		5.0	37.0	43.0	47.0	51.0	
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン	1.4	1.3	0.6	0.35	0.099	0.059	
		5.0	57.0	75.0	93.0	95.0	
一酸化二窒素	2.9	2.8	3.19	2.767	2.112	0.739	
		5.0	-10	5.0	27	75	
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計	24,953.3	23,728.0	15,710.6	14,179	13,103	12,122	
		5.0	37.0	43.0	47.0	49	
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	各種省エネ活動（変圧器の更新、天井灯のLED化（634灯）、夏季ピーク活動（放送・デマンド抑制）による電力量の削減による効果。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：付加価値生産高【億円】

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成22年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位（原油換 算kl）	48.64		39.04	32.87	25.42	29.39	
			80.3%	84.2%	77.3%	115.8	
実績に対する 自己評価	昨年度と比較し原単位は115%悪化した。要因としては、エネルギー削減に対し、指標の付加価値生産高が大幅に減少。検証の結果、H26年度一部製品がの事業分社化、付加価値生産高が大幅に減少した為、原単位におおきな影響を与えた。						

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量（年度H19年～22年の平均を基準：H23年2%、H24～H26年 各1%削減） H26年度19,926[千KWh] 前年度比91.62% （糸崎・古浜工場全般）	① 省エネパトロール・節電放送の実施 冷暖房室温管理徹底 等 夏場28℃、冬場20℃管理 ② 高天井照明LED化の更新 （634灯更新 562MWh/年） ③ 高効率変圧器の導入 12 台更新 64MWh
2	水道使用量の削減	H26年度実績 134千ton （前年度 57%）	① 日常の取り組みとして節水及び漏水の確認（チェックシート） ② 上水・工水の月別使用量の管理 ③ 処理水の再利用を検討
3	廃棄物排出量の削減	H26 年度 目標：最終処分率 0.5%未満 実績：最終処分率0.0%	① 汚泥脱水乾燥設備の導入により汚泥を焼却処理からリサイクルに転換。 ② 新規発生廃棄物について、リサイクル処理を行う業者を選定する。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み